

第11回臨時会

9/13に開催しました。

(可決した議案)

○令和3年度一般会計補正予算
主に、次の内容で総額349億3,600万円を補正するものです。

- ・新型コロナウイルス感染症予防接種費
- ・飲食店等感染防止対策協力支援費追加

以上、1件の議案を可決しました。

委員会の主な活動状況

(9/11～10/10)

総務委員会

辺野古新基地建設に係る陳情4件の審査を行い、継続審査としました。また、北5西1西2地区市街地再開発事業および北海道新幹線札幌駅東改札口の整備について、まちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(10/1)

財政市民委員会

「核兵器禁止第1回締約国会議に日本政府代表の派遣を求める意見書採択の陳情」および「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書（案）の採択を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(10/1)

文教委員会

「札幌市奨学金の大幅拡充を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(10/1)

経済観光委員会

札幌ドーム周辺地域におけるスポーツ交流拠点基本構想（案）の策定について、スポーツ局から説明を受け、質疑を行いました。(10/1)

令和2年度の決算を審査しました。(10/6、10/8)

お知らせ

キッズページの公開

札幌市議会ホームページでは、「キッズページなるほどギカイ」を公開しています。ぜひご覧ください。



■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

子どもや家庭を支援する取り組み

いしかわ
石川 さわ子
市民ネットワーク北海道

図 地域で子どもや家庭を支援している団体などがより効果的に活動するために、どのように取り組みますか。

答 子育て家庭のニーズは多様化しており、地域の支援団体の活動や団体間の連携の重要性が高まっています。今後は、団体の活動内容を分かりやすく伝え、相談に対応する子どもコーディネーターの活動を通じて地域でのネットワークを広げ、団体のより効果的な活動を支援します。



第3回定例会

(10/10までに可決した議案など)

○令和3年度一般会計補正予算

主に、次の内容で総額180億2,100万円を補正するものです。

- ・新型コロナウイルス感染症患者等対策費追加
- ・介護施設等ゾーニング環境等整備補助金
- ・文化芸術活動再開支援費追加
- ・飲食店の未来応援費（プレミアム付食事券の発行）
- ・飲食店等感染防止対策協力支援費追加

○札幌市区の設置等に関する条例等の一部を改正する条例案など、合計17件の議案を可決しました。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、採決時を除き、登壇議員のうち議場への出席議員の人数を調整しています。

バス交通ネットワーク

みかみ ひでこ
三神 英彦
自由民主党

図 持続可能な居住環境を維持していく上で、バス交通ネットワークをどう位置付け、その確保に向けた支援や制度を具現化していきますか。

答 本市では、主要な地下鉄・JR駅周辺と郊外の住宅地などを結ぶ輸送を担うものとしてバス交通ネットワークを位置付けており、運行費用の一部補助を行いつつ、利用実態や地域課題に合わせたデマンドバス導入支援制度などを創設しました。地域の足を適切に確保するため、各制度の効果的な運用を図っていきます。



中小企業の事業承継支援

みずかみ みか
水上 美華
民主市民連合

図 本市では、昨年3月に事業承継マッチングポータルサイトを立ち上げましたが、市内経済を支える中小企業の事業承継を強力に推進すべきです。中小企業の事業承継支援について、これまでの取り組みの評価と今後の方向性をどのように考えていますか。

答 事業承継マッチングポータルサイトへの企業情報掲載や個別訪問などにより、現時点で1組が譲渡契約に至り、7組が承継に向けた協議を行っており、一定の効果が現れていると認識しています。今後は、廃業リスクの高い高齢の経営者を中心に積極的なアプローチを行い、中小企業の事業承継を促していきます。



おける横断的な連携を図り、課題解決に向けた支援を行う予定です。その実現に向け、広範な知識が求められる区役所職員への研修実施などを検討しており、今後は対応事例を積み重ねながら、困り事を複合的に抱えている市民に寄り添い、必要な支援を行き届けられる体制の確立を目指します。



感染症に強い札幌の構築

まさかわ たかし
前川 隆史
公明党

図 新型コロナウイルスの感染拡大で得た知識と経験を踏まえ、次期まちづくり戦略ビジョンでは、感染症に強いまちづくりをどう進める必要があると考えますか。

答 次期戦略ビジョンでは、感染症を含めた危機への防災・減災体制を整え、有事の際でも迅速に対応し回復への道筋をつけることが重要と認識しています。そのため、官民の資源を活用して医療などの支援を確実にし、情報通信技術などを用いて、手続きの迅速化や「非接触」の社会経済活動を可能にするなど、感染症のまん延リスクを低減させ、生活や経済への影響を最小化することが必要と考えます。



北海道ボールパークへのアクセス

むらかみ
村上 ひとし
日本共産党

図 北海道ボールパーク構想について、公共交通や自家用車により本市から北広島市に行く場合、大多数が厚別区を経由し、同区を通る国道の渋滞も懸念されますが、どのような課題を想定し、対策を検討していますか。

答 北広島市と球団が事務局となり、道路管理者などからなる検討会では、新札幌駅でのバスへの円滑な乗り換えが課題と考え、対応を検討しています。また、主要な幹線道路に混雑が生じないよう、入退場時間の拡大による時間分散策と、う回道路への誘導による経路分散策の検討も進めています。



9月17日に招集された第3回定例会の中から、9月27日、28日、29日の代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致の意義

ばん よしたか
伴 良隆
自由民主党

図 2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指す本市は、先日開催された東京2020大会をどう受け止め、2030年大会招致の意義をどう考えていますか。

答 東京2020大会は、スポーツの持つ揺るぎない力を目の当たりにし、さらに、共生社会を考える契機にもなったと認識しています。2030年大会の開催は、共生社会の実現や継続的な集客交流の確保など、課題に対応したまちへの再生を促進するものと認識しており、市民の声を聴きながら、未来を見据えた取り組みを大会の理念に盛り込む考えです。



複合的に福祉課題を抱えた市民への支援

なりた ゆうき
成田 祐樹
民主市民連合

図 少子高齢化、生活スタイルの多様化、核家族化、格差社会などにより、複合的に福祉課題を抱えた市民に対して、課題の解決に向けてより包括的な対応が求められていると考えますが、どのように支援を進めていきますか。

答 区役所に総合的な調整役を配置し、保健福祉分野に